

会 議 録

会議の名称	第9回津山地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和3年2月24日(水)	
	午後 7時00分	開会
	午後 8時00分	閉会
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室	
委員出席者	菅原 祐也	委員長 津山中学校PTA会長
	佐藤 良紀	委員 柳津小学校PTA会員
	今野 政雄	委員 津山中学校学校運営協議会長
	林 三治	委員 柳津小学校学校運営協議会委員
	浅野 茂美	委員 横山小学校学校運営協議会長
	阿部 篤雄	副委員長 津山町行政区長会副会長
	阿部 宗幸	委員 つやま杉の子こども園保護者会長
事務局出席者	小林 和仁	学校再編推進室長
	岩 渕 裕喜	学校再編推進室学校再編推進係長
	佐藤 春香	学校再編推進室主事
	佐藤 鷹彦	学校再編推進室主事
欠席者	遠藤 貴 委員	横山小学校PTA会長
傍聴者	0名	
議事	劣化診断調査の結果等について	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	委員長	開会挨拶
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。担当から説明させていただく。
	事務局	(担当より内容を説明)
	事務局	前回の会議録について、お渡しした内容で公開してよいか。 (異議なし)
	事務局	それでは議事に入らせていただく。進行については、菅原委員長に願います。
	委員長	それでは、議事1の劣化診断調査の結果等について、事務局に説明を求めます。
	事務局	(資料に基づき劣化診断調査の結果等について説明)
	委員長	事務局の説明に対して何か質問はあるか。
	委員	外部鉄骨柱の腐食とあるが、どのあたりになるのか。
事務局	鉄骨の下部に腐食がみられるとの報告である。	

委員	<p>業者の方が行った調査ということなので調査結果については、内容の通りかと思う。校舎の現状についてはおおよそ理解できたが、以前の会議では、この結果を基に校舎を改修するのか、それとも改築するのかといった、施設の活用方針を検討していくとの説明を受けた。この辺の見通しについてはどのようになっているのか説明をいただきたい。</p>
事務局	<p>今回の劣化診断調査で施設の劣化状況、それに対する改修に要する費用の概算などを業者から報告していただいた。基本的には改修により既存校舎を有効活用していく考えではあるが、報告された改修費用と改築費用などを比較し、施設の活用方針を検討しているところである。比較にあたっては、業者から報告のあった費用のほかに、国からの補助金等の財源、将来的な児童数などの情報を基に総合的に判断していく考えでいる。</p>
委員	<p>これまでの会議の中で、劣化診断の時期やその後の予定について説明を受けているが、その時の説明からは時期が遅れている。年末年始に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあったかと思うが、当初お話のあった令和5年度の開校に間に合うのかが心配である。先ほど比較検討の話があったが、結論の出る時期について伺いたい。</p>
事務局	<p>確かに当初お話しした予定からは遅れている状況にある。その点についてはお詫び申し上げます。劣化診断調査後から本日の会議までの取組についてだが、令和2年11月4日に改修費用と改築費用の概算金額の報告があった。内部での作業の遅れもあり、施設活用について現在方向性を示すことができない状況となっている。結論の出る時期について、早急に結論を出したいとは考えているが、具体的な時期について今はお示しできない状況である。</p>
委員	<p>費用の概算金額については、この場で説明できるのか。</p>
事務局	<p>設計費等込みで改修については4億円程度となる。この改修については劣化箇所すべての改修を行った際の概算金額となる。改築については鉄筋コンクリート造での改築を想定した場合、14億円程度となる。</p>
事務局	<p>改築の費用については、校舎の解体費なども含めた数字となっている。今後、児童数が減少する見込みであることから、校舎の規模は今回の想定よりも実際は小さくなると考えている。また、今回は鉄筋コンクリート造での試算となっているが、木造の平屋で建築することにより単価は下がると考えている。従って実際は概算金額よりは少なくなると考えている。</p>
委員	<p>改修であれば築65年まで使えるとのことであるが、それ以降の考え方がどのようになっているのか。それによれば新しく建てる方が良いと考える。</p>
事務局	<p>教育委員会でも様々な視点から検討している。事業費についてもだが、今後の津山地域の児童数を考えると今改築しても10年後、20年後には児童数が減少し、空き教室が増えることが考えられることから、現時点で投資すべきかどうかといった問題もある。そういった情報も踏まえ、判断し</p>

		ていきたい。
委員		財源についての検討もされているかと思うが、国からの補助金や起債を活用した場合の実際の市の手出しとなる金額についての検討はどのようになっているのか。
事務局		改修・改築どちらについても要件を満たせば国からの補助を受けることができる。それ以外の部分については、起債を用いて財源の確保を行うことになる。津山地域では過疎地域に関する起債が使えることから整備時点での市の手出しについては、改修・改築の金額の差は少なくなると考えられる。しかし、起債については借金になるので、借りる金額が大きくなるほど将来の負担が大きくなる。補助金や起債の活用については、財政部門と協議を行いながら検討していく必要がある。
委員		木質化した場合の金額はどのようになっているのか。
事務局		業者から提出された改築費用については、全国的に鉄筋コンクリート造の校舎が多いことから、同構造で改築した際の費用を報告していただいている。木造で校舎を建てた場合は、全国の事例から見ると鉄筋コンクリート造の7割程度の金額で整備ができるといった数字があり、詳細な設計を行わないと分からない部分もあるが、いずれにせよ木造の方が低い単価で整備することができる。
委員		これから児童数が減っていくのであればそれほど大きな学校である必要はないと思う。それに加えて、先ほど説明されていた木造での建築などによって事業費を減らすことはできるのではないかと。
事務局		今回は概算での報告であったので、今後精査していく中でそのようなことも可能であると思うが断言はできない。
委員		個人的には改修で対応できるのであれば費用面からすると改修が良いのではないかと考えるが、先ほどの補助金などの利用によってあまり金額に差が出ないようであれば、改築もありなのかなと思う。
委員		改修についてだが、これはあくまで今ある建物のみを改修した場合の金額ということか。増築等の費用は含まれてはいるのか。
事務局		含まれてはいない。躯体は残したままの改修となるので校舎の間取りについては、大きく変えることは難しい。
委員		柳津小学校については、現在、理科室と図工室が一緒になっている状況なので、その部分について気にしている方が多い。
事務局		足りない教室については、増築や教室の振分け方を工夫し対応を行っていくことになる。
委員		改修と改築でそれぞれ補助があるとのことであるが、補助率によって

		は、金額が同程度となることも考えられるのか。
事務局		補助金については、要件等が定められており、単純に事業費の何分の一といったことにはならない。詳細については、現在、教育委員会において検証を行っており、比較の際の材料とすることとしている。
事務局		費用の比較については、事業費だけでなく、補助金等の財源も考慮した上で行う考えでいる。
委員		現在、教育委員会で検討を行っているということだが、教育委員会としてこの時期までには決定するといった考え方はないのか。
事務局		今年度中に決定する予定ではあったが、現状では難しいと考えている。新年度となると市長及び市議会議員選挙が重なり、いつ頃になるのか明言できない状況である。
委員		工期についてはどうなのか。
事務局		改修については11ヶ月程度となるが、これは児童が校舎にいない場合の期間であり、児童が校舎にいながらとなると2年程度となる。
委員		改修の際に工事期間は横山小学校で勉強するといったことは可能か。
事務局		スクールバスで送迎など必要な措置をとれば可能と考える。
委員		そうすれば工事期間が1年となるので、令和5年度の開校に間合うと思う。改築の場合はどうなるのか。
事務局		改築の場合は工期が15ヶ月程度となることから、それに伴い開校の時期もずれることになる。
委員		次回の会議についてだが、先ほど選挙という話があったが5月以降になるということか。
事務局		令和5年度を目標としているが確定ではない。整備手法によっては後年にずれることもある。
委員		いつ頃になるか分からない状況が続くと委員の士気にも関わってくる。目標のとおり100%進むことができないのは承知しているが、目標に向けて進めていく姿勢は必要。
事務局		令和5年度の目標に向けてこれからも検討を進めていきたい。
委員長		ほかに意見はあるか。 (意見なし)

委員長	それではこの議題についての審議は以上とする。次にその他について事務局から何かあるか。
事務局	委員の引継ぎについて、説明させていただきたい。次に会議を開催する際は、施設活用の方向性について事務局から説明させていただく予定であるが、先ほど説明させていただいた通り、新年度に入る可能性があることから、各団体で委員に変更が生じる場合は、次の委員の選任及び引継ぎについてご協力をお願いしたい。後日通知の送付によりお知らせを行う。
委員長	何か質問等はあるか。
委員	今後の予定について確認したいが、施設活用の方向性が決まらないうちは、以前説明のあった実施計画も策定できないし、開校準備委員会にも入れないということか。
事務局	はい。
委員	この委員会で決まったことが、開校準備委員会で変わるということはあるのか。
事務局	この会議の検討結果を基に実施計画を策定するが、学校運営上変更せざるを得ないといった特段の事情がない限りは変更することはない。
委員長	ほかに質問はあるか。 (質問なし)
委員長	以上で本日の議事を終了する。進行を事務局へお戻しする。
事務局	本日の会議について、本来の予定よりも遅れてしまっていることについて、改めてお詫び申し上げます。今後も学校再編に向けて検討を進めていくので委員の皆様にはご協力をお願いしたい。以上で本日の会議を終了する。
事務局	閉会 午後8時00分